

福山の「気まぐれ写真」展

令和3年7月12日 記：福山茂和

子供の頃から山歩きが好きで（今と違って他に熱中することもなかった）、津山での学生時代も同級生と一緒に那岐山や勝山町（叔父さんが住んでいた）の星山などに良く出かけていました。当時の一番の思い出は、先輩の長尾さんともう一名の方と一緒に鳥取の大山に出かけ、現在は危険なため歩くことの出来ない山頂からの縦走路を歩いたことです。

定年退職後は、山に登るのではなく「眺める」に主体を移して何度か海外の山岳地帯に出かけたときの写真を紹介します。

まずは、スイス・アルプスから



「焼けるアイガー北壁」(3970m)



「マッターホルン」(4478m)

ネパールから



「朝日を浴びるアンナプルナ主峰」(8091m)

パキスタンから



「世界第二位の高峰 K2」(8611m)



「朝日を浴びるマッシャーブルム」(7821m)